

一般質問通告書

受領日時 令和4年11月28日 午前10時45分

6番 氏名 荒川 滋

質問項目	質問の要旨
1 町のシンボルである森山を有効活用できるよう	<p>(1) 今年度スタートの秋田県観光振興ビジョンに秋田地域振興局管内から特色あるプロジェクトとして男鹿市と共に選出され、当町において取り組むべき例に朝市以外では、秋田市居住者や首都圏居住者などによる体験メニューで『森山探検』との掲載がある。観光面で森山をどのように活用するか。 また、観光面だけではなく住民の心身の健康増進にも大きく寄与している森山を、今後のまちづくりにおいてどう活用していくか。町の考えは。</p> <p>(2) 管理道路の工事に伴う通行止め、立ち入り禁止措置の期間中、登山者は別のルートを利用せよということであったか。そうだとしたらどのルートの事か。</p> <p>(3) 仮復旧工事後、通信事業者はゲートを設置し立ち入り禁止を継続するとのことだが、森山を観光の目玉の一つとしてまた身近な里山ととらえている町として、そのまま受け入れるのか。通信事業者の意向に対する町の考えは。</p> <p>(4) 愛好者と住民の声をくみ取り、町の意向と合わせ通信事業者に確実に伝え、車輛通行止め・立ち入り禁止継続の阻止に向け努めるべき。町民の方を向いた町政を。</p> <p>(5) 平成4年から5年にかけて行われ、平成6年4月契約を目指したものの結論が出ないまま現在に至っている、町への道路移管に関する通信事業者との協議を30年ぶりに再開させて60年近く続く現状を打破し町道町山線の終点から先、第2高地までを町道化し観光振興と住民の健康増進の観点でフルに活用すべき。 (3年前同様の質問への答弁に対し：町道化による道路整備の提案は、現状同様に交差できるスペースを活用し道の拡幅はないので景観に対する影響は無し。駐車は第2高地9合目付近のスペースも活用するもので頂上の駐車スペース不足は当てはまらない。)</p> <p>(6) 通行止めとなっている四渡園から森林資料館(五城目城)への登山道の現状と今後。 登山のベース基地である五城目城ふもと駐車場の冬期間除雪をこの冬も。 併せて、今年3月定例会で、冬場の安全管理、鍵の開け閉め、清掃、凍結防止、除雪など考慮の上検討すると答弁があった駐車場トイレの利用も可能とするよう。 町を訪れる人をもてなす機運醸成の発揮を。</p>

<p>2 誰もが住みやすい町であるために</p>	<p>(1) 馬場目川は緊急浚渫推進事業河川であるが今年度は優先度の高い他の河川に着手するとの県の意向を本年6月定例会一般質問答弁で話された。 8月、当町を襲った未曾有の災害。いまだ不自由な生活を強いられている方々がいる。国や県に本格的な河川浚渫の要望をしての反応は。</p> <p>(2) 集会所など町内会が所有する建築物の維持に対する支援が必要と考えるが町の考えは。</p> <p>(3) 人口減少や高齢化進行の影響で難題を抱えている流雪溝組合。 設備と組合存続に向けての施策は。</p>
<p>3 企業誘致と経済振興</p>	<p>(1) 企業誘致に力を入れる県。その中でここ五城目町を選択していただくための当町の売りは何か。進出のメリットは。</p> <p>(2) 事業休止や移転などにより進む町中心部の空洞化。 中心市街地で増える大型空き物件の利活用をどのように考えるか。民間所有物なのであくまでも行政はノータッチか。</p>
<p>4 観光の振興について</p>	<p>(1) 前述の秋田県観光振興ビジョンについて、県と連携し魅力の向上と関係人口や移住者の増加につながるよう強い意志を持って観光振興を展望したいと一年前に発言があったが、これまでの町の取り組みと効果は。</p> <p>(2) 7～9月に展開の北東北3県大型観光キャンペーンで県のホームページと7月1日の秋田さきがけ新報に、ネコバリ岩の写真が大きく掲載された。 同キャンペーンでの町の取り組みは。</p>